昭和五年三月一日
（第三種郵便物認可）

昭和十年三月十六日〔日刊〕 新いわき 〔土曜日〕 第一千四百二十一號（一）

三月十五日 夕刊

毎日曜祭日・盆日休刊
但日曜祭日・盆日休刊
一ヶ月二十五錢
電話十五番・郵便二番
毎年四月一日改定
新聞代前金式
廣告料一行四十錢
毎月初旬同人
毎行毎月初旬同人
中谷政吉
毎行所
福島縣平町大字二三
新いわき新聞社

平消防組檢閲に
緒方理事今日來平
大日本消防協會表彰の下調べ

平消防組が優良消防組として大日本協會から大優勝旗を授與表彰される候補として本縣當局から内申された事は既報の如くであるが大日本消防協會は此の内申にもとづき平消防組の機械設備その他一般實狀が果して内申通り優良であるや否やを決定するため今十五日同協會理事緒方維一郎氏は内務省協會から各一名の技師を隨行して午前九時上野驛發列車で午後一時平驛着井上組頭、關内副組頭以下全組員の出迎えを受けて平消防會議所に入り消防統計その他を調査後自動車ポンプ操縦消火栓服裝等を檢閲した

平町都市計畫の
區域決定委員會
十九日福島に召集さる

都市計畫地方委員會は十九日午後一時から福島縣廳内に於て開催と決定青沼町長、井上野崎、萩原の四委員出席するが當日の議題は平町の都市計畫區域決定に對する内務諮問の答申案である此の委員會に於て平町の大都市計畫區域が決定するだけに成行を非常に注目される

視察

平商業校 白河町議四名
白河町では同町立商業學校の乙種程度を甲種に昇格したい計畫中であるが町では右の計畫に對し昇格よりも現在のまゝで經營を維持したい二派の說に分れてゐる爲め何れを採るべきかに關し町議から委員を上げて福島、平、若松、郡山、喜多方の各校を視察することゝなり今十五日午前平町に左記四氏の視察あつたが一行は最初役場を訪ね次へで商業學校を視察の後若松方面へ向つた

鈴木養臣 田中次男 佐川健治 川上正名

大野と大浦の大火へ
義金を贈る協議
今日平町に於て區長會

平町では去る十二日の郡内大浦村及び大野村の大火に對し青沼町長から大村野へ三十圓大浦村へ二十圓の見舞金を當日取敢へず贈つてゐたが更に適當の義金を贈るべく今十五日午後三時から區長會を招集し右に就て協議の結果町内二十八區からの一般寄附により五百圓以上を目標とし少なくとも大浦村の罹災十五戸へ二百圓大野村の同二十一戸に三百圓を贈りたい意向に決したが隣村の關係から非常な同情を寄せられてゐるので義金は豫定を超えるであらうと

爆藥窃盜頻出で
平署一般に警告
火藥取扱と嚴重監視方を

（既報）内郷村高坂坑、赤井村川瀬炭礦と相次ぐ爆藥窃盜事件の頻出は幸い平署の機敏な活動によつて各れも大事勃發を未然に犯人逮捕を見たが兩事件ともに爆藥窃取目的が大事決行に使用せんとした戰慄すべきものだけに平署では引續き犯人の嚴重取調を爲してゐるが最近一般火藥取扱者の監視取扱方法等が緩漫になつてゐるため恐るべき威力を有する爆藥が簡單に窃取されるものゝ觀て横山署長は今十五日全管内火藥爆發物取扱者に對し今後嚴重取扱ひゝ監視方の警告を發した尚火藥取扱の大半は各炭礦である關係上炭礦に對し火藥倉庫設置並に嚴重監視方を特に勵行せよと嚴命を發した

常識講座

メリツトは功、功績または特長、眞價、殊勳善行美事の類を指す彼れのメリツトと云へば其の謂であるが、下の一字が「ツ」に代るメリツツと云ふと得失または是非曲直の意になる

彩色一春

梅一輪 いちりん毎の暖かさ

彼岸近く刻々深まる春色の平町に珍らしく昨夕から白牡丹の樣な雪が降つた

◇

でも流石に今日あたりは風こそあるがスツカリ盛り返しての春氣分花の噂さがボツ〳〵巷を賑はし初めた一番い寒いも彼岸までと…」云はれるその彼岸も間近い

◇

深まる春色にせき立てられた平町では先ず十八日午後一時から青沼町長が發起で土木委員、警備委員、横山署長、後藤驛長それに藝妓屋組合、三業組合、酒屋組合の主腦幹部を役場會議室に參集を求めて早くも觀櫻客の誘致方法を例によつて協議する事になつた

◇

花の松ヶ岡を彩る新田町花街總出の春仕演藝…此れだけは是非例年通りやりたいと云ふのが町長さん以下の希望だが當の藝妓屋組合では「衣裝や出演藝妓の玉代その他で毎年八百圓内外を負擔してゐるが役場からの補助でも增加して貰へるなら兎に角今年はどうも…」とあんまり色氣を見せてゐない

◇

全國的に有名な花の雪洞岐阜提灯、櫻花燈は相變らず平消防が請負ふことになり既に準備に着手した等々平町の櫻花氣分は漸く漂ひ始めて來た

早くも櫻花準備
關係者協議會
廣告燈の募集も着手

同僚から
現金窃盜
性惡なる洋服職人

平町田町大崎洋服店方洋裁職人武石盛嗣（三六）は去十三日夜同僚佐川某が活動見物に行つた留守に突け入りその下宿先に忍び込んで現金十餘圓と衣類數點を窃取した事發覺十四日夜平署に檢擧された

平產看校
卒業式

明十六日午後一時平町南町の平產婆看護學校では明十六日午後一時第二十八回卒業式を擧行されるが今期卒業は產婆科四十名、看護婦科八十三名合計百二十三名で氏名左の如し

產婆の部（イロハ順）

飯田千代乃 遠藤ウン 海老根ナミ 芳賀マサイ 長谷川ヨシノ 本谷川ヨシノ 新妻キヨ 大友ヤエ子 折笠多キミ 大津ミヤエ 落合ツミエ 渡邊キヨ子 渡邊ハツル 藥谷福子 菅野アキヨ

看護婦の部

飯田千付乃 遠藤ウン 海老根ナミ 五十嵐タイ 澤ユイ子 長谷川ヨシノ 榛澤ユイ子 芳賀マサイ 西郡キミ子 西山トヨ子 西郡ユリ子 新妻キヨ 木田キミ 富田貞子 大友ヤエ子 荻野久子 折笠ミエ 大津ミヤエ 渡邊スイ子 藥谷福子 渡邊キヨ子 渡部タミ 渡邊ツヤ 渡邊ユキ 綿引美世子 渡邊ハツヨ 渡邊フク 高萩ツマ子 高萩ミツ 丹つね 高木ミイ 園部アイ子 長山登茂子 山崎ヒデ 松本幸子 小林セツ 阿久津トシ子 佐藤 歌子 坂本マス 木田テツ子 木村テル 目黑チヨイ 白井イト 志賀ヨシ 島場宮子 鹽原トキ 比佐 酵子 關口クニ 清野やい 鈴木ミヨ子 鈴木定子 以上四十名

山崎吉平氏逝く

石城郡飯野村の山崎吉平氏は神經系心臟の爲め發病以來二ケ年余に亘り醫療に手を盡してゐたが昨十四日午後一時半藥石効なく遂に自宅療床に於て不歸の客となつた氏は昭和二年選出の縣會に當選したる外同村長たること前後四期に及び一般から信望ある中に於て殊に義俠心に富み村民から慈父の如く親はれ今回の死を非常に惜まれてゐる行年六十二才、尚葬儀は來る十八日午後一時自宅に於て告別式後執行される筈

渡邊キヨ子 加藤若子 金成クニ 上妻智枝子 吉葵チヒデ子 菅野アキ 田中マヨノ 高島ミヨシ 高井春子 高萩ミツ 高野キヨ 丹ツネ 園部アイ子 山崎シツエ 内藤ツマ 植野清子 武士はる 園部アイ子 馬上クニ子 松本幸子 百合子 小林セツ 阿久津トシ子 佐藤アヤ ツ 我妻マサ子 小豆畑シヅ 佐藤チカノ 西丸ヨシ 坂本マス子 佐藤歌子 佐藤潔子 木田テイ リツ 木村テル子 木田キミ クヨ 木村スイ子 菊地雪子 木田テツ子 水野ヒメ 白目黑チヨイ 志賀ヨシエ 島田井イト 四家ヨシ 延子 鹽原トキ 平澤イソ 關口比佐酵子 清野やい 鈴木キヌ クニ 鈴木マスヨ 鈴木チヨ子 鈴木コト 鈴木ミヨ子 鈴木定子 以上八十三名

拾遺歌中題詞の『さはこのみゆ』は
現今の湯本（原名三箇）町に懸く
『飯坂溫泉元湯の鯖湖に强引、建碑せるは無稽、不當の極み』

〔9〕

鮫川刺史

渡醒（今は專ら鮫と書く）川一二 膳槙田、新田（現時の渡邊一二 村大字田部の宿）諸驛抵油一二 長非、入酒肆而醉飲、主人一二 頗有馬驛、敵既觀之、不能一レ 識其神駿矣、蠅虻雨集、振一二 衣而去、觀玉湯本、國風所一レ 詠三箇御湯是也、舟浴鮒濯一二レ 足、升東堂（觀音堂の建立一二 せる山か）而息、暑氣頓消（東奥紀行）

此くのとほり見られる。然し此れにも亦「國風」云々とあるは、拾遺乃至夫木所見の古歌を指示したのであらう。

天明八年夏、備中國岡本の住人、古河辰なる者が當湯に至り、左の樣に記した。

平より南一里（近世は凡そ一里二十八町と云ふ）湯本町、大概の所なり、此地には温泉數多にて、家々に湯壺有り、入浴せる人も多く濕（疥癬のこと）瘡毒に功有る湯也、（東遊雜記、下文は六節に分掲するから繼看せよ）

是れで見ると、既に備中方面まで聞えてゐたのが知られる

文化三年、常陸多珂郡神間村の佐藤維古は、「磐城名所和歌集」を著はし、當湯の拾遺歌と夫木抄歌を引載したが單に歌辭がけであるから、此に引くまでもなからう。

父吉平儀病氣の處療養不相叶昨十四日午後一時三十分死去致候間此段謹告仕候

追て來る十八日午後一時自宅に於て佛式に依り告別式相營可申候

昭和十年三月十五日
福島縣石城郡飯野村
男 山崎一郎

産業方面

今年春繭の相場豫想（五）

三十掛確實の樂觀說に見る

繭の相場を左右する糸價は即今上下頻繁であるもの丶大体六百三四十圓臺の維持算で或は七百圓に居くかも知れない觀測をもつ長野縣地方でも今年の春繭に左記の如き豫想を置いてゐる。

米國の生糸消費は增加の傾向であるものに對して生産は極度の原料不足で端境期を待たずに工場を閉鎖せねばならぬと云ふ利途の好材料に惠まれてゐるので或は七百圓臺の出現も今度ばかりは單なる夢物語りに終るやうなことはないであらう一般から心配されてゐるのは糸價高から掃立が激增しはせぬかそのために俄かに糸價を壓迫するやうなことがありはせぬかとの觀測だが全國的に桑園の整理改植が勵行された上に農村の不況は桑園の給肥が充分でないので繭の增産は困難であらう長野地方としても一割五分乃至二割の掃立減少は免かれまいと云はれて居り此の實情は全國的であるから相當の減産となる筈で端境期に糸價を壓迫するやうな繭の增産は先づないものと見てよからう、ではあるが人絹への警戒は一寸必要だらう、其所で此の糸價が現在の六百四、五十圓を春繭の出廻り期まで持ち續けるものとせば繭を何所まで買ひるかであるが三十三掛が動かぬところかと豫想される養蠶家が生産費の低減によつてゆけば今年こそは久方ぶりで發益に惠まれるものがあるであらう。

（以上は長野縣地方の見方）

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

内科、小兒科
入院應需
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

一、本科　五拾名　二、裁縫專修科百名
三、專攻科三拾名　四、師範科　貳拾名
五、本科裁縫專修科二學年補缺若干名
文部大臣認可
藤田女學校　生徒募集
●願書受付三月卅一日まで
●詳細は學則請求のこと
平町田町（電話三二八番）

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
●自炊の便あり●

●玉付ノ石板ガ樂ニ入リマス…●九五錢ヨリ
學習院型ランドセル
サイゴー印學生帽
女學生用手提カバン
●福助運動靴景品付賣出中
入學ト進級ノ準備オ念入ニ吟味セル實用品揃イ
入學用品店陳列
にツルヤ
平四・電一四〇

醬油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
お醬油は……ヤマフル
鹽屋
山崎合名會社
電話本店一一四〇番　營業部二一四〇番
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

内科、小兒科
入院應需
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

一、本科　五拾名　二、裁縫專修科百名
三、專攻科三拾名　四、師範科　貳拾名
五、本科裁縫專修科二學年補缺若干名
文部大臣認可
藤田女學校　生徒募集
●願書受付三月卅一日まで
●詳細は學則請求のこと
平町田町（電話三二八番）

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前　電六六九番
●自炊の便あり●

●玉付ノ石板ガ樂ニ入リマス…●九五錢ヨリ
學習院型ランドセル
サイゴー印學生帽
女學生用手提カバン
●福助運動靴景品付賣出中
入學ト進級ノ準備オ念入ニ吟味セル實用品揃イ
入學用品店陳列
にツルヤ
平四・電一四〇

醬油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
お醬油は……ヤマフル
鹽屋
山崎合名會社
電話本店一一四〇番　營業部二一四〇番
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

好評々々
たる各種優秀藥
強力流經劑（定價一圓、三圓、五圓、十圓）
治淋新劑トリックス（定價二圓、三圓、五圓）
動脈硬化症特効藥
Aアイヨー錠（定價二圓、六圓、二十圓）
（中風豫防藥）
Bトーゲン（定價一圓、三圓、五圓、十圓）
特約店（平町五丁目通り）山野邊藥局

英和・和英辭典
國語・漢和辭典
各種學習取揃へました
國定教科書
中等教科書
全科參考書類
中等教科書　各科參考書
平・四　友　電話一二四番　二三四番
新學期の御用意は先づマルトモ書店から
小學生　カバン　¥ ,35より
ランドセル　¥1,70より
女學生手提カバン　¥ ,85より
磐城中學校指定背嚢あります

新築移轉
新學期生募集
新築校舍には產科の實習に「產室」を設備致し寄宿生の爲めには完全な自炊便を備えてあります
●募集生產看科を通じて八十名
特點　無試驗入學　願書受付は四月五日迄
修業年限（兩科を通じて一ヶ年）月謝貳圓
石城產科婦看護婦學校（平才槌小路）（電話三五七）
校長　鷹崎千代

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木亞男
平町田町（電話九八番）藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

雨露に晒す程弱く太る煙突
煙突は朝日煙突
朝日煙突
紙製にはぜんぜんやけないくさらない
經濟的で實用的で
金屋商店

（磐城共濟病院）福島縣平町電六四一
內科（院長醫學博士　石山謙郎　電話六四一番）
小兒科（部長岩手醫學士　平賀一忠　電話三七〇番）
產婦人科（副院長醫學博士　五十嵐雄二）
外科耳鼻咽喉科（部長醫學士　大町久藏）
皮膚泌尿器病科花柳病科（部長醫學士　前澤正郎　電話一七二番）
X光線療物科（醫學博士　石山謙彥）
衛生試驗所獸醫科（技術員　高山謙雄）
藥局（藥劑師　後利平）
事務長　鈴木寶雄
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
●…病室完備…入院隨意…●